
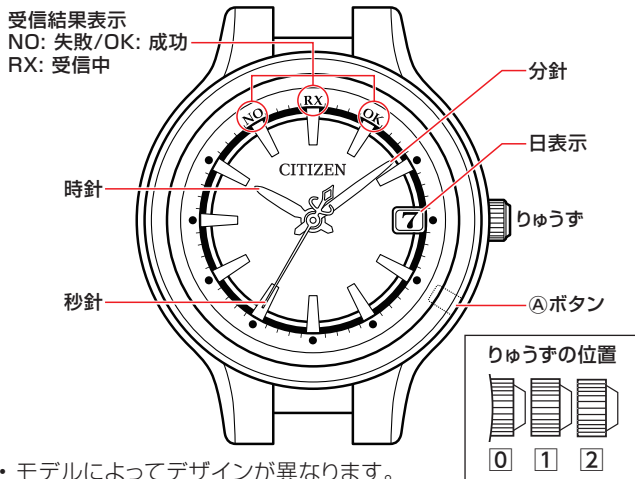


H01* 簡易操作ガイド

- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。

 H010～H019取扱説明書

各部の名称



- モデルによってデザインが異なります。

現在の充電量を確認する

1. りゅうずの位置を0にする
2. Aボタンを押す
 - 秒針が15秒ぶん戻る動きをしたら、充電が必要です。
 - 秒針は、「OK」または「NO」を指しますが、これは充電のようすとは関係ありません。
3. Aボタンを押して、終了する
 - 現在の時刻に戻ります。
 - ボタンを押さなくても、約10秒すると自動で現在の時刻に戻ります。

受信結果を確認する

- この時計は、標準電波を毎日午前2時に受信し、時計 / カレンダーを自動で合わせます。午前2時に受信できなかったときは、午前4時に再度受信を試みます。

1. りゅうずの位置を0にする
2. Aボタンを押す
 - 秒針が動き、前回の電波の受信結果を指します。

表示	受信結果
OK	受信に成功しました。
NO	受信に失敗しました。

- 受信に失敗している場合は、「電波を手動で受信する」の手順に従い、電波受信をしてください。
 - 電波を正しく受信しても、受信環境や時計内部処理により、時刻表示にわずかなずれが生じます。
3. Aボタンを押して、終了する
 - 現在の時刻に戻ります。
 - ボタンを押さなくても、約10秒すると自動で現在の時刻に戻ります。

電波を手動で受信する(強制受信)

- 受信が完了するまでに、2分から15分程かかります。

1. りゅうずの位置を0にする
2. Aボタンを2秒間以上押し続ける
 - 秒針が「RX」を指し、電波受信を始めます。受信が終了すると、秒針が通常の動きに戻ります。
 - 受信に成功した場合: 修正された時刻を表示します。
 - 受信に失敗した場合: 時刻は修正されず、現在の時刻に戻ります。
 - 受信を中断したいときは、各針が高速で回り始めるまでAボタンを押し続けます。

時差機能を使う

- 時差を設定することで、時刻合わせをすることなく、他の地域の時刻を表示させることができます。
- 現在の表示時刻を基準に、±27時間の範囲(1時間単位)で時差を設定します。

1. りゅうずの位置を1にする
 - 秒針が現在の時差設定を指します。
2. りゅうずを回して、時差を設定する
 - ±0時間(日本)
 - 1時間(中国)
 - +3時間(ニュージーランド)
 - 8時間(フランス・イタリア)
 - 9時間(イギリス)
 - 19時間(ハワイ)
 - 27時間
 - +27時間

- 秒針が0秒を指しているときが、時差±0です。

3. りゅうずの位置を0にして、終了する

時刻とカレンダーを手動で合わせる

- この時計のカレンダーは、うるう年を含む2100年2月28日まで、修正不要です。(パーペチュアルカレンダー)

1. リゅうずの位置を②にする

秒針が30秒を指します。

2. ④ボタンを押す

秒針が0秒を指します。

- ボタンを押す毎に、「分針」→「時と日表示」→「月と年」と修正できる項目が切り替わります。

3. リゅうずを回して、分を合わせる

- リゅうずを素早く回転させると、分針が連続して動きます。リゅうずを少し回すと止まります。

4. ④ボタンを押す

時と日表示が合わせられるようになります。

5. リゅうずを回して、時と日表示を合わせる

- リゅうずを素早く回転させると、時針が連続して動きます。リゅうずを少し回すと止まります。

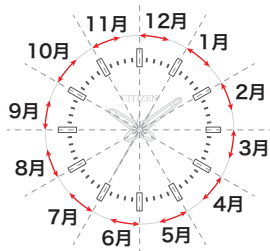
6. ④ボタンを押す

年と月が合わせられるようになります。

現在設定されている年と月が、秒針で表示されます。

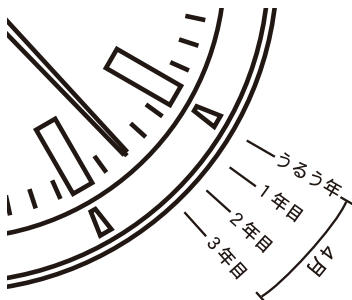
7. リゅうずを回して、年と月を合わせる

- 月は、時刻の「時」の範囲で示されます。



- 年は、うるう年からの経過年数で表示され、各月の範囲内での秒針の位置で示されます。うるう年からの経過年については、サポートの「仕様・機能購入」から、うるう年経過年早見表をご参照ください。
<http://citizen.jp/cs/guide/index.html>

(例)2015年4月に合わせるときは
4月→4時の範囲
2015年→うるう年から3年目



- リゅうずを素早く回転させると、秒針が連続して動きます。リゅうずを少し回すと止まります。

8. 時報に合わせて、リゅうずの位置を①にする

秒針が動きはじめます。

基準位置を確認する

1. リゅうずの位置を①にする

2. 秒針が高速で動き始めるまで、④ボタンを7秒間以上押し続ける

各針 / 表示が動き出し、現在の基準位置が表示されます。

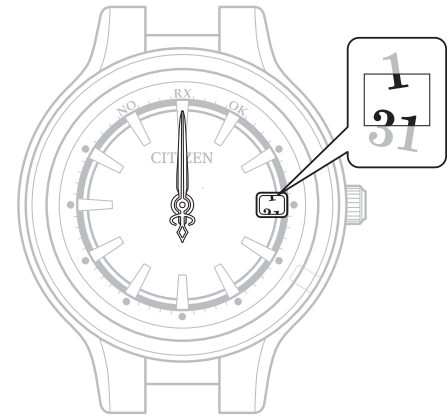
• 正しい基準位置:

- すべての針が12時位置、
- 日表示が「31日と1日の間」

現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。

3. ④ボタンを押して、確認を終了する

時刻表示に戻ります。



基準位置を修正する

1. リゅうずの位置を①にする

2. ④ボタンを7秒間以上押し続ける

各針 / 表示が動き出し、現在の基準位置が表示されます。

3. リゅうずの位置を②にする

時針がわずかに動きます。

4. リゅうずを回して、時針を「12時」、日表示を「31日と1日の間」に合わせる

- リゅうずを素早く回転させると、針が連続して回転します。リゅうずを少し回すと止まります。

5. ④ボタンを押す

分針と秒針が動きます。

6. リゅうずを回して、分針を「0分」、秒針を「0秒」に合わせる

- リゅうずを素早く回転させると、分針と秒針が連続して回転します。リゅうずを少し回すと止まります。
- 秒針と分針は連動します。

7. リゅうずの位置を①にする

8. ④ボタンを押して、終了する

時刻表示に戻ります。

オールリセットを行う

1. リゅうずの位置を②にする

2. ④ボタンを9秒間以上押し続ける

時針、分針、秒針がわずかに動いてオールリセットされます。

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置を合わせ直してください。その後、手動で電波を受信して(強制受信)、時刻とカレンダーを合わせ直してください。